

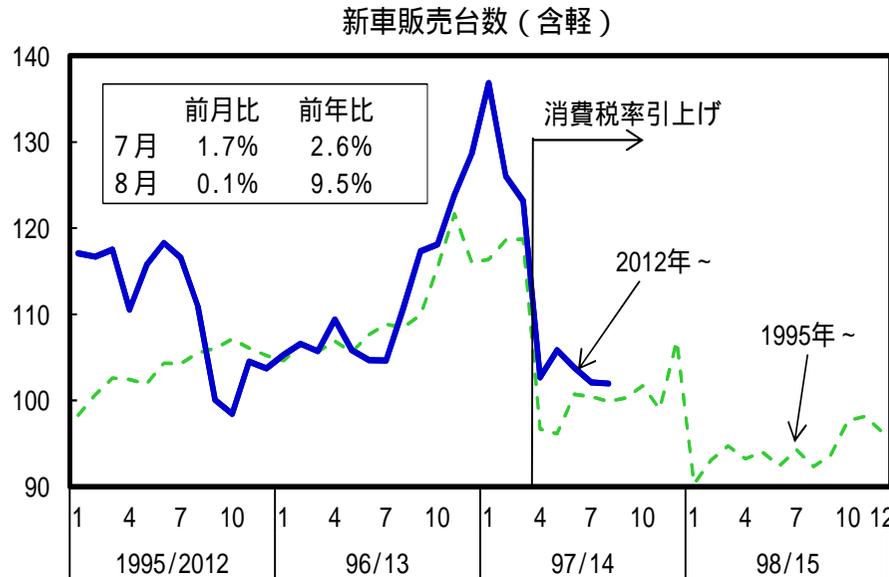
消費税率引上げ後の消費動向等 について（8月第5週）

平成26年9月5日

内閣府

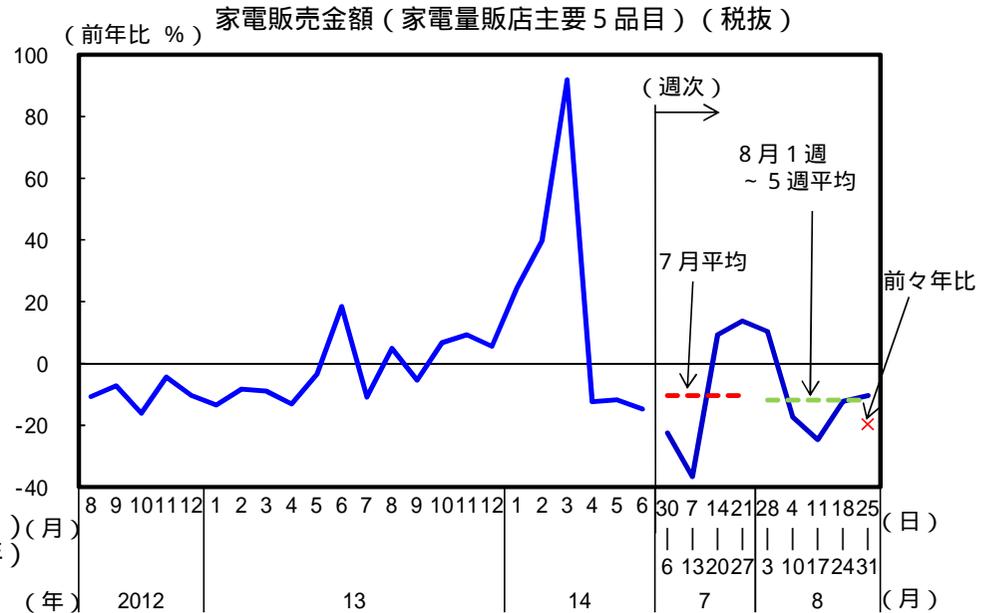
自動車・家電販売の動向

自動車販売（除軽、登録ベース）は、8月は前年比でマイナスとなった。



(備考) 1. 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会により作成。
2. 内閣府による季節調整値を指数化したもの。

主要5品目の家電販売は、8月第5週では、エアコンを中心として前年比マイナスとなった。なお、前年の影響を排除するため前々年と比較してもマイナスとなっている。



(備考) GfKジャパン（全国の有力家電量販店販売実績を調査・集計）により作成。テレビ、エアコン、冷蔵庫、パソコン、携帯電話の5品目の合計。

自動車販売台数（除軽、登録ベース）は、8月は前年比でマイナスとなった。前年が高かった影響や、ボーナスの効果があまりみられなかったことが要因と考えている。 今後は、秋以降に予定されている新型車投入の効果に期待したい。

【業界団体A】

軽自動車販売台数（届出ベース）は、8月は前年比でマイナスとなった。昨年8月が非常に高かったため、その影響でマイナスとなっているとみている。

【業界団体B】

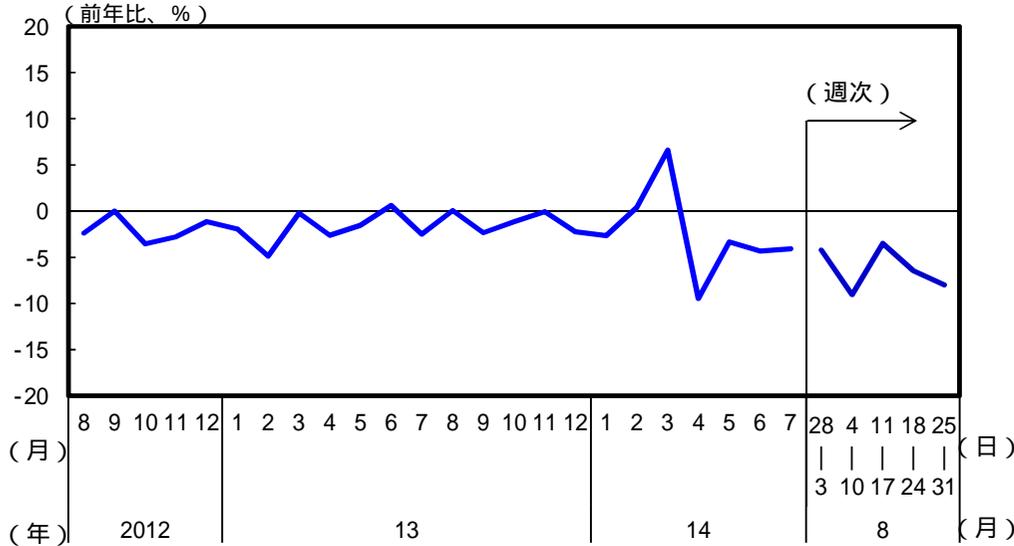
8月第5週は、気温が例年に比べ低かったことからエアコンが前年比でマイナスに寄与し、全体でもマイナスとなった。 7月、8月の売上については、台風や気温といった天候要因によるエアコンの売上変動に左右されている面が大きい。増税後の持ち直しの判断にあたっては、9月以降の販売動向にも着目したい。

【市場アナリスト】

飲食料品・百貨店・サービス販売の動向

スーパーの売上は、8月第5週では、前年比マイナスとなった。

飲食料品（除く生鮮食品）販売金額（スーパー）（税抜）



- (備考) 1. KSP（全国の食品スーパーマーケット販売実績を調査・集計）により作成。
 2. 加工食品、飲料・酒類、菓子類の3品目の合計。税抜き価格ベース。
 3. 既存店ベースのため、前年比が低めに出る傾向がある。
 4. 7月第4週は、祝日の影響を取り除くため、7月14日～27日の2週間の前年比を算出している。
 また、直近のデータは、速報値。

8月第5週の売上は前年比で微増となった。精肉、野菜が売上にプラスに寄与した一方、加工食品や日用雑貨品がマイナスに寄与した。

【食品スーパー A】

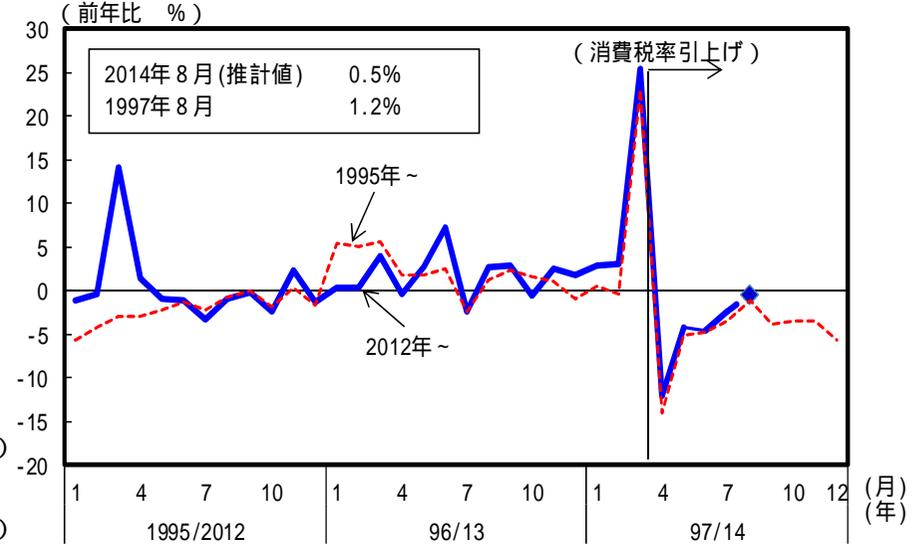
サービス消費は、旅行については、7月はほぼ前年比プラスとなった。外食は、天候要因に左右されているものの、底堅く推移。

予約状況については、7月から大きな変化はみられない。国内については、テーマパークの人気等を背景に、秋の行楽シーズン、年末にかけて順調な出足となっている。

【旅行会社 A】

8月第5週は、低気温により定価の秋冬物の売行きが好調。

百貨店売上高（税抜、既存店ベース）



- (備考) 日本百貨店協会により作成。8月の値は内閣府による推計値。

8月の売上前年比はプラス。客数は前年比ほぼ同じだったが、秋物の売行きが好調だった。高額品の前年比もプラスに転じ、消費税引上げ後の高額品における反動減の影響もほぼ薄れてきたのではないかと、思う。

【百貨店 A】

8月の売上前年比はプラス。8月第5週の低気温から、秋冬物が好調。8月全体で見ると、数量は前年比で少ないが、単価の上昇が寄与しているとみている。

【百貨店 B】